

宮崎県人会世界大会実行委員会（第5回）資料



宮崎県人会世界大会
Miyazaki Kenjinkai World Conference

宮崎県人会世界大会実行委員会事務局

1 第1号議案 宮崎県人会世界大会実行委員会の事業報告について

(1) 宮崎県人会世界大会の概要について

① 大会参加者

県人会から270名、来賓等188名、県民218名の合計676名が参加

(ア) 海外宮崎県人会 (129名) ※招待参加者数57名、自主参加者数72名

名 称	人数
ブラジル宮崎県人会	22
アルゼンチン宮崎県人会	4
パラグアイ宮崎県人会	3
アメリカ宮崎県人会	9
ワシントン宮崎県人会	1
ハワイ宮崎県人会	3
ニューヨーク宮崎県人会	13
トロント宮崎県人会	4
英国宮崎県人会	1
シンガポール宮崎県人会	12

名 称	人数
クアラルンプール宮崎県人会	2
インドネシア宮崎県人会	3
タイ宮崎県人会	4
ハノイ宮崎県人会	3
ホーチミン市宮崎県人会	3
香港宮崎県人会	33
上海宮崎県人会	2
ソウル宮崎県人会	4
台湾宮崎いっちゃんが会	3

(イ) 国内宮崎県人会 (141名) ※招待参加者数90名、自主参加者数51名

名 称	人数
北海道札幌宮崎県人会	4
北海道千歳フェニックス会	7
千葉地区宮崎県人会	5
在京宮崎県人会	20
東海宮崎県人会	19
京都宮崎県人会	8
近畿宮崎県人会	28

名 称	人数
兵庫宮崎県人会	11
広島宮崎県人会	7
ふるさと宮崎の会岩国	3
在福宮崎県人会	10
北九州宮崎県人会	8
熊本在住宮崎県人会	5
おおいた宮崎県人会	6

(ウ) 来 賓 (94名) 国会議員、県議会議員、市町村長、市町村議会議長

(エ) 関係者 (94名) 実行委員会委員、オブザーバー、協賛企業等

(オ) 県 民 (218名)

② 大会概要

以下の日程及び内容で開催

日 時		行 事	
27日 (金)	12:00 ～ 13:00	1 宮崎県人会長会議〈3F 瑞洋〉 (内 容) 大会宣言の採択、県施策紹介 意見交換 (出席者) 国内外県人会の会長等(33名)	2 宮崎県人会次世代会議〈3F 海峰〉 (内 容) 県人会活性化等の意見交換 (出席者) 国内外県人会の若手参加者等 (33名)
	13:30 ～ 14:30	3 記念式典〈4Fホール〉 (内 容) 海外県人会入場、神楽、オープニングムービー 開会宣言、県民歌斉唱、主催者・来賓挨拶 県人会紹介、顕彰盾贈呈、県人会代表挨拶 大会宣言(発表) (出席者) 国内外県人会からの参加者(270名) 来賓等(188名)、一般県民(218名)	
	14:40 ～ 15:30	4 記念コンサート〈4Fホール〉 (内 容) 県内高校生、本県出身アーティスト (出席者) 国内外県人会(270名) 来賓等(188名) 一般県民(218名)	9 伝統文化 体験コーナー 〈2F会議室〉 (内 容) 伝統工芸品等の 紹介 (出席者) 記念式典等の 参加者
	15:45 ～ 15:55	5 記念写真撮影〈3Fホワイエ〉 (内 容) 記念写真撮影 (出席者) 県人会長、実行委員会等(47名)	
	16:00 ～ 17:00	6 県人会プレゼンテーション〈3F海峰〉 (内 容) 県人会長等によるプレゼンテーション (各県人会報告等) (出席者) 来賓等(188名)	
	17:30 ～ 19:30	7 歓迎レセプション〈4Fホール〉 (内 容) 開会挨拶、鏡開き、来賓挨拶、乾杯、ひよっこ・太鼓演奏 県人会代表謝辞、花火等 (出席者) 国内外県人会、来賓等(458名)	
28日(土) ～ 29日(日)	10 ふるさと巡りツアー ※コース：県北、県西、県央・県南 (内 容) 県内各地を訪問し、地域住民との交流会や歓迎式などを実施 (参加者) 国内外からの参加者 ※宮崎神宮御神幸祭		

12:30～17:30

**8 市町村等
PRブース
〈2F和仁〉**

(内 容) 市町村等のPR
ブースによる県
産品等の紹介

(出席者) 記念式典等の
参加者

【1 宮崎県人会長会議】

県の施策を紹介後、県人会から県人会と県が連携した取組を報告していただき、県人会の活性化や本県施策の更なる展開について情報を共有。ふるさと宮崎の絆を強固なものとするための大会宣言を採択



【2 宮崎県人会次世代会議】

各県人会から活動事例報告をしていただき、県人会の次世代への継承・活性化等の諸課題について情報交換を実施



【3 記念式典】

置県 140 年の節目を迎える本県と県人会の一体感を醸成するとともに、県人会との連携を強化し、県人会の更なる活性化や本県施策の更なる展開に向けた大会宣言を発表



【4 記念コンサート】

県内高校生や本県出身アーティストの演奏等により、参加者の一体感を演出するとともに、県人会の方々を歓迎



【5 記念写真撮影】

各県人会の会長及び実行委員会委員等で記念写真を撮影



【6 海外県人会プレゼンテーション】

県人会同士の横の繋がりを深めながら各県人会の情報を多くの関係者で共有するため、海外県人会による各国・地域の紹介、活動事例の報告等を実施



【7 歓迎レセプション】

大会参加者を歓迎するとともに、宮崎の食や文化などを堪能し、本県の魅力を再発見していただくためのレセプションを開催



【8 市町村等 PR ブース】

県内の物産や観光 PR 等を目的に県、26 市町村、協賛企業が PR ブースを設置



【9 伝統文化体験】

本県の魅力再発見につなげるため、宮崎の伝統文化を体験するコーナーを設置
また、アトリウムにて伝統工芸品を展示



【10 ふるさと巡りツアー】

本県出身者やゆかりのある方が、県内各地へ赴き、地元の方々と交流し、各地の様々な文化等にふれることで、ふるさと宮崎への思いを共有し、その魅力を再発見するツアーを実施

【県北コース】延岡市、高千穂町

参加者：(10月28日) 55名 (9の海外県人会から30名、6の国内県人会から25名)
(10月29日) 31名 (7の海外県人会から31名)

訪問先：北方よっちみろ屋、天岩戸神社、高千穂神社、高千穂峡ほか
高千穂町長から歓迎の挨拶、神楽の舞鑑賞のセレモニーを実施

【県西コース】都城市、小林市

参加者：(10月28日) 56名 (8の海外県人会から28名、7の国内県人会から28名)
(10月29日) 17名 (2の海外県人会から6名、2の国内県人会から11名)

訪問先：都城NiQLL、霧島ファクトリーガーデン、生駒高原他
三股町ゴットン保存会による演奏、都城工業高校ジャズバンド演奏、
小林市長から歓迎の御挨拶他のセレモニーを実施

【県央・県南コース】宮崎市、日南市

参加者：(10月28日) 35名 (5の海外県人会から17名、4の国内県人会から18名)
(10月29日) 27名 (4の海外県人会から15名、3の国内県人会から12名)

訪問先：こどもの国バラ園、青島神社、鵜戸神宮、飢肥城下町ほか
日南学園高校吹奏楽部の演奏、日南市長から歓迎の御挨拶、泰平踊りを実施



青島（宮崎市）



道の駅フェニックス（宮崎市）



鵜戸神宮（日南市）



天安河原（高千穂町）



高千穂峡（高千穂町）



神楽鑑賞（高千穂町）



生駒高原（小林市）

※宮崎神宮大祭

橘通り4丁目から市役所前交差点付近まで神賑行列への参加及びPRのためステージ登壇

【神賑行列】

参加者:50名(3の海外県人会から11名、1の国内県人会から1名 その他関係者38名)



神賑行列（宮崎市）

③ 大会の成果

大会では、県人会の参加者による大会宣言が採択されたほか、参加者同士が相互交流を行うとともにネットワークの拡大等

(7) 大会宣言の採択

宮崎県人会世界大会 大会宣言 『つながろうひなたで つなげよう世界へ』

この度、私たち宮崎県人会は、置県140年の節目の年を迎えるここ宮崎に集い、初めての開催となる宮崎県人会世界大会に参加しました。

県人会は、県外で暮らす私たちにとって心のよりどころとなる交流の場であり、また、各国・地域で宮崎の魅力を発信するために重要な役割を果たしてきました。これからも同じふるさとを持つ県人同士が心を一つにし、宮崎の発展を願い、宮崎との架け橋となって国内外でさらに活躍することを決意して、次のことを宣言します。

1. それぞれの国や地域で、会員同士の理解と交流を深めながら、県人会の活性化に取り組み、ふるさと宮崎への想いを次世代へ継承します。
2. 県人会と県、そして県人会同士が、相互の絆を大切にしながら積極的な交流を図り、更なるネットワークの拡大・強化に努めます。
3. ふるさとへの誇りを胸に刻み、温暖な気候、豊かな自然、美味しい食べ物など「日本のひなた宮崎県」の魅力を国内外に広く発信し、県の発展に貢献します。

2023年（令和5年）10月27日

宮崎県人会世界大会
県人会参加者一同

(4) 大会の成果

- ・幅広い世代で参加者同士の相互理解と交流が図られた。
- ・県と県人会及び県人会同士の交流によりネットワークが拡大した。
- ・参加者にふるさと宮崎の魅力を再発見いただいた。

(2) 宮崎県人会世界大会実行委員会の取組について

実行委員会では、事業計画に基づく4つの事業（参加者受入れ事業、大会等開催事業、広報・PR事業、企画総務事業）に取り組みました。

参加者受入れ事業

【事業計画】

国内外から多くの方々に参加していただけるよう、万全の受入れ体制を整えるとともに、県民等の参加を促進する。

【事業報告】

① 招待者に対する旅行等の手配及び支援

旅行行程にかかる参加者との調整や、参加者が安心して大会に参加できるよう特別な配慮等について聞き取りを行い支援

(7) 宿泊先手配

10月26日（木）アートホテル宮崎スカイタワー

10月27日（金）、28日（土）シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート

宿泊先手配：総人泊：302人泊（26日：51名、27日：139名、28日：112名）

(4) 航空機等の移動手段手配：128名（国内・海外）

② 参加者の県内移動にかかる支援

宮崎ブーゲンビリア空港到着口総合案内所に大会参加者向けデスクを設置したほか、借上バス等を運行し参加者の県内移動を支援

(7) 宮崎ブーゲンビリア空港 から アートホテル宮崎スカイタワー

国外県人会員 50人（借上バス、ジャンボタクシー）

(4) アートホテル宮崎スカイタワー から シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート

国内外県人会 55名（借上バス、ジャンボタクシー）

(5) シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート から 宮崎市内

国内・海外外県人会（借上バス）

③ 一般県民参加の公募

一般県民に向けてテレビCMや新聞等を通して参加者を公募

768名の応募があり抽選で300名に当選はがきを送付

大会等開催事業

【事業計画】

ふるさと宮崎への想いを共有し、その魅力を再発見していただけるような大会等を企画し、関係機関と連携しながら開催する。

【事業報告】

- ① 記念式典、歓迎レセプション等の開催（場所：シーガイアコンベンションセンター）
3ページから6ページのとおり
- ② ふるさと巡りツアーの実施
7ページから8ページのとおり
- ③ 宮崎神宮大祭への参加
8ページのとおり
- ④ 参加者へのお土産品等の提供
 - (7) 県人会への記念品
顕彰楯、神楽面（天岩戸木彫）



(イ) 県人会会員への記念品

一輪挿し、うすでこ（(株)水野屋）、煎茶ティーバッグ（(株)新緑園）、法被、みやざき観光カレンダー



(ウ) 来賓への記念品

日向盆（宮崎県大島振興協会、宮崎漆器工房）、一人ひとり（虎彦（株））、法被、みやざき観光カレンダー



広報・PR事業

【事業計画】

大会の開催、趣旨などを県民及び国内外の県関係者に広く周知し、受入れに向けた機運の醸成や大会への参加促進を図る。

【事業報告】

令和5年度広報実績

	広報内容	広報時期（令和5年）
PRイベント	カウントダウンボード除幕式	7/19
	イベントと連携したPR （みやざきグルメ ランタンナイト）	8/14
	沿道植栽によるPR（宮崎市高千穂通り）	9/3
	園児による国旗等の塗り絵	10/3
	宮崎ブーゲンビリア空港でのパネル展	10/18～10/31
	宮崎ブーゲンビリア空港等でのPR・歓迎	8/21～10/29
	県庁舎でのPR	9/1～10/29
SNS WEB	#おかえり宮崎 写真投稿キャンペーン	8/1～10/29
	YouTube（大会PR動画）	8/14～10/29
	Tver（大会PR動画）	8/16～10/29
	Facebook広告	10/1～10/27
	Instagram広告	10/1～10/27
沿道バナー	県庁楠並木通り、宮崎ブーゲンビリア空港、 江平町商店街、橘通り2丁目・3丁目	楠並木 8/1～10/29 空 港 9/8～10/29 上記以外 10/1～10/29
ラッピングバス	宮崎交通バス（1台目）	8/1～10/29
	宮崎交通バス（2台目）	8/1～10/31
懸垂幕	県庁（3号館）	8/15～10/29
	宮崎山形屋	9/11～10/29
テレビ	テレビCM	8/1～10/27
	テレビ番組（ニュース）	8/9、8/28、8/29、9/4、10/23
街頭大型ビジョン	AMU VISION、一番街ビジョン	8/21～10/29
新聞	宮崎日日新聞広告	9/27、10/20、10/27、10/30
ラジオ	ラジオCM	10/23～10/27
	ラジオ番組（MRT）	10/23
県の媒体	テレビ 県政番組	9/3、10/21、12/17
	県広報誌	10月号、12月号
	県公式Facebook、X（Twitter）、LINE	9月から毎週発信
	宮崎日日新聞広告	8/18、10/20
	宮崎日日新聞（県政掲示板）	8/27
	ラジオ おはよう県庁	10/5、10/26
	新宿みやざき館KONNEデジタルサイネージ	7/31～10/29
市町村関係	市町村庁舎における大会ポスターの掲出等	8/1～10/29



宮崎市内を走るラッピングバス



8/14 ランタンナイトでのPRブース



9/3 高千穂通りでの植栽イベント



県防災庁舎1F PRブース



9/3 高千穂通りでの植栽イベント 記念写真



10/18-31 宮崎ブーゲンビリア空港 パネル展



10/26 空港到着歓迎セレモニー



10/3 園児による海外県人会の国旗塗り絵



(大会特集記事)
※記事はいずれも宮崎日日新聞社より提供。

10/27 掲載
(大会当日の朝刊を宮日から参加者へ提供)

10/30 掲載



企画・総務事業

【事業計画】

民間団体等と一体となった取組や、大会後のレガシーに繋げるための関係機関との連携のほか、事務局の運営等を行う。

【事業報告】

① 協賛金・協賛品の募集・活用

大会の開催にあたり、協賛の募集事業を実施した結果、米良企業グループや株式会社ソラシドエアなど多くの企業・団体から御協賛をいただきました。

(協賛概要)

協賛団体数：61企業・団体

協賛合計：21,690,000円（うち協賛品1,510,000円）

(主な活用内容)

参加者の県内での移動支援、広報・PRの取組、記念式典での会場装飾、歓迎レセプションでの県産食材の提供等

② 県人会の活性化に向けたホームページの作成

宮崎県人会公式ホームページを作成しました。（詳細は20ページ参照）

③ 実行委員会の開催

実行委員会	開催年月日	開催場所	主な審議・報告事項
第1回	令和4年11月8日	県企業局 県電ホール	・実行委員会設立趣意書 ・実行委員会の規約等の制定 ・世界大会開催概要
第2回	令和5年3月17日	県企業局 県電ホール	・実行委員会の規約等の制定 ・実行委員会事業計画 ・実行委員会予算
第3回	令和5年7月27日	県庁5号館 521号室	・大会開催概要 ・世界大会の準備状況報告 ・協賛金の募集
第4回	令和5年10月4日	県庁本館講堂	・実行委員会補正予算 ・世界大会の準備状況報告 ・参加者の移動支援
第5回	令和6年3月12日	県庁本館講堂	・実行委員会事業報告 ・実行委員会決算 ・実行委員会解散

2 第2号議案 宮崎県人会世界大会実行委員会の決算について

宮崎県人会世界大会実行委員会 決算（案）

（単位 円）

費 目		現計予算	決算	増減	増減理由
収 入	<u>負担金収入</u>	97,345,000	97,345,000	0	
	・ 県からの負担金				
	<u>協賛金</u>	19,880,000	20,180,000	300,000	・ 協賛金の増
	・ 民間団体等からの協賛金				
	<u>諸収入</u>	1,000	700	-300	
	・ 預金利息				
合 計		117,226,000	117,525,700	299,700	

費 目		現計予算	決算	増減	増減理由
支 出	<u>参加者受入れ事業費</u>	36,000,000	33,551,260	-2,448,740	・ 招待による参加者が見込みより少なかったことに伴う減
	・ 招待者に対する旅行等の手配及び支援				
	・ 参加者の県内移動等に関する調整・手配				
	・ 様々な本県関係団体に向けた案内・調整 ・ 県民や来賓等の参加に向けた調整 など				
	<u>大会等開催事業費</u>	60,000,000	62,794,136	2,794,136	・ 記念誌の充実、作成部数の追加に伴う増（約190万円） ・ 大会運営業務委託経費の増（約90万円）
	・ 記念式典、歓迎レセプション等の開催				
	・ 伝統文化体験・市町村PRブースの設置				
	・ ふるさと巡りツアーの実施				
	・ 参加者に提供するお土産品等の確保 など				
	<u>広報・PR事業費</u>	16,000,000	15,950,097	-49,903	
	・ 広報用品やノベルティグッズの作成				
	・ 大会PR動画の更なる展開				
	・ 県民向けの大会PR関連行事の開催				
	・ SNS等による幅広い情報発信				
	・ 県人会の総会等における広報・PR など				
	<u>企画・総務事業費</u>	5,226,000	5,230,207	4,207	
	・ 民間団体等との連携及び協賛金等の募集				
	・ 大会後のレガシーに繋げるための連携強化				
	・ 県人会の活性化に向けた取組に対する支援				
	・ 実行委員会の開催、事務局の運営 など				
合 計		117,226,000	117,525,700	299,700	

監 査 報 告 書

宮崎県人会世界大会実行委員会規約第13条3項の規定により、
宮崎県人会世界大会実行委員会の令和5年4月1日から令和6年3
月 7 日までの会計事務について監査を行った結果、帳簿及び証拠
書類は整備されており、適正に処理されていることを認めます。

令和6年 3 月 7 日

宮崎県人会世界大会実行委員会

監 事

杉田浩二 

監 査 報 告 書

宮崎県人会世界大会実行委員会規約第13条3項の規定により、
宮崎県人会世界大会実行委員会の令和5年4月1日から令和6年3
月7日までの会計事務について監査を行った結果、帳簿及び証拠書
類は整備されており、適正に処理されていることを認めます。

令和6年 3月 7日

宮崎県人会世界大会実行委員会

監 事 他田宜永 

3 第3号議案 宮崎県人会世界大会実行委員会の解散について

(1) 要旨

宮崎県人会世界大会実行委員会規約第14条第1項の規定により、実行委員会を解散する。

(2) 解散の理由

実行委員会規約第2条の目的を達したため。

○参考（実行委員会規約）

（目 的）

第2条 実行委員会は、宮崎県人会の活性化を図り、本県の更なるプロモーション展開の契機とすることを目的に、本県出身者やゆかりのある方が本県に一堂に会する「宮崎県人会世界大会（以下「世界大会」という。）」を開催する。

（解 散）

第14条 実行委員会は、第2条の目的を達したとき、実行委員会の議決を経て解散する。

4 今後の県人会との連携等について

(1) 新たに把握した海外宮崎県人会について

大会開催を契機として、新たに2つの宮崎県人会から活動している旨の情報提供

①シドニー宮崎県人会（オーストラリア）

設 立	令和元年8月
目 的	宮崎県出身者および宮崎県が好き・興味がある方が集まり親睦を深める。
会員数	45名（令和5年11月現在）

②フランクフルト宮崎県人会（ドイツ）

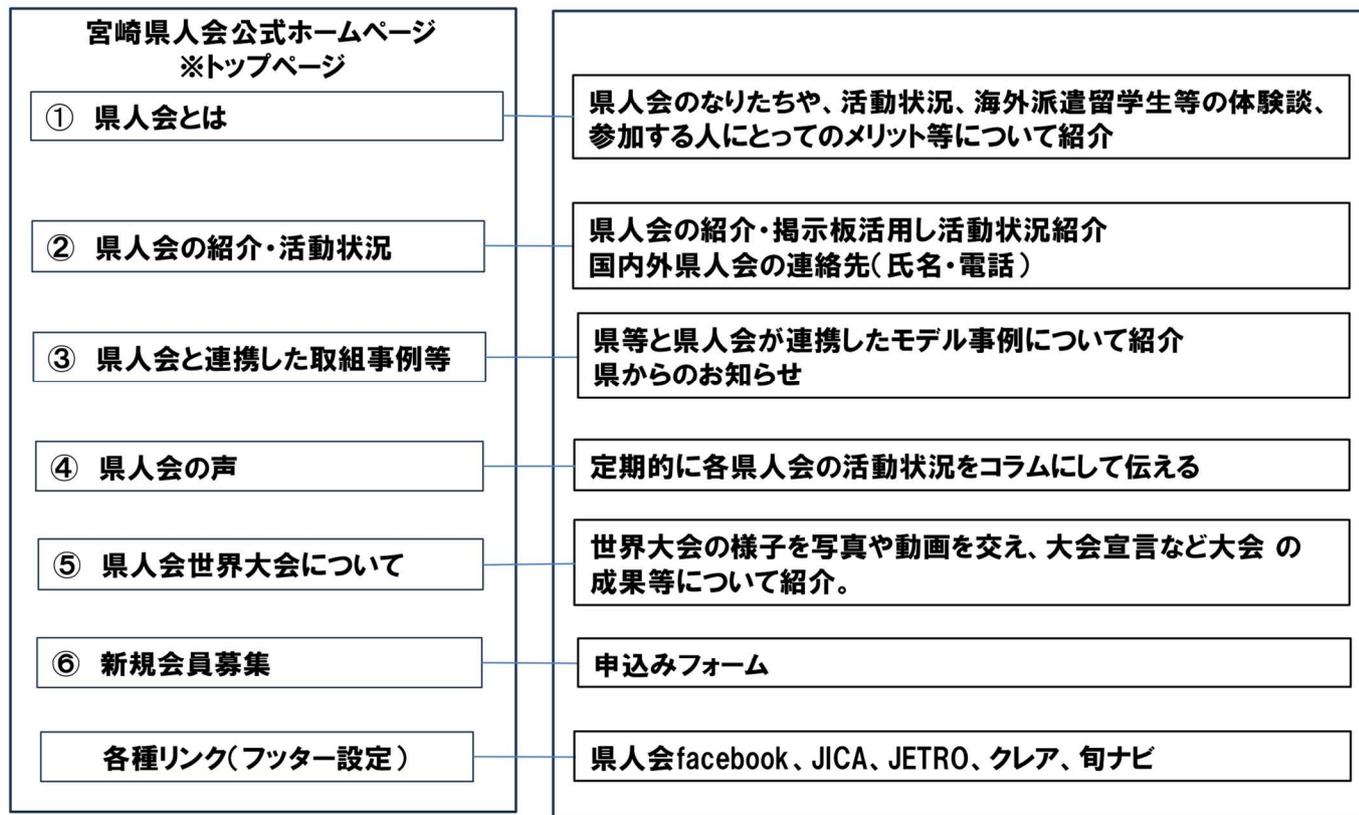
設 立	令和5年5月
目 的	宮崎県出身者で親交を深める。
会員数	5名（令和5年5月現在）

(2) 宮崎県人会公式ホームページの開設について

県や県人会、県人会同士のネットワークを強化するため、宮崎県人会公式ホームページを開設

今後は、このホームページを活用して、県と県人会が相互の取組を共有するとともに、その情報を国内外の本県関係者へ広く発信

(ホームページの構成)



ホームページ
QRコード





活動状況

すべて 国内 海外

ただいまお知らせ記事はありません

[活動状況一覧へ](#)

取組み事例

ただいまお知らせ記事はありません



最新情報をお届けします

取組み事例記事が投稿された際にご登録いただいたメールアドレス宛に通知を送ります。入力されたメールアドレスは厳重に管理されますので、メールアドレスの変更もメールのリンクをクリックし、トップページにて設定を変更してください。

Enter email address...

登録する

登録情報を入力



県人会とは

HOME > 県人会とは

＼ なりたち ＼

国内外の各地域で宮崎県出身者やご家族が、会自組りの交流や絆の創造を図るために結成された会です。

＼ 活動状況 ＼

海外に22、国内15の県人会が設けられています。

国内

国内には、九州と東北・北海道まで各地域に宮崎県人会があり、親会など母国にない会自組りの趣味や各地域のお祭りなどでの多彩な取組活動に取り組んでいます。

国内
15団体

- ▶ 北海道札幌宮崎県人会
- ▶ 北海道千歳フェニックス会
- ▶ 北海道旭川宮崎県人会
- ▶ 千葉地区宮崎県人会
- ▶ 在京宮崎県人会（東京）
- ▶ 東海宮崎県人会
- ▶ 京都宮崎県人会
- ▶ 兵庫宮崎県人会
- ▶ 広島宮崎県人会
- ▶ ふるさと宮崎の会（若国宮崎県人会）
- ▶ 在福宮崎県人会（福岡）
- ▶ 北九州宮崎県人会
- ▶ 熊本在住宮崎県人会
- ▶ おおいた宮崎県人会

海外

海外には、親会など母国の移住者などから活動や交流の場が、ビジネス目的で多く移住が広がる米国やアジアを中心に世界各地に国内県人会があり、各地の県人会同士が交流するための大切なコミュニケーションになっています。

海外
22団体

- ▶ ブラジル宮崎県人会
- ▶ アルゼンチン宮崎県人会
- ▶ アメリカ宮崎県人会
- ▶ サンフランシスコ宮崎県人会
- ▶ ワシントン宮崎県人会
- ▶ ハワイ宮崎県人会
- ▶ ニューヨーク宮崎県人会
- ▶ クアラルンプール宮崎県人会
- ▶ パラグアイ宮崎県人会
- ▶ トロント宮崎県人会
- ▶ 香港宮崎県人会
- ▶ 上海宮崎県人会
- ▶ 英国宮崎県人会
- ▶ シンガポール宮崎県人会
- ▶ インドネシア宮崎県人会
- ▶ ソウル宮崎県人会
- ▶ タイ国宮崎県人会
- ▶ 台湾宮崎いっしょが会
- ▶ ハノイ宮崎県人会
- ▶ ホーチミン市宮崎県人会
- ▶ シドニー宮崎県人会
- ▶ フランクフルト宮崎県人会

(3) 大会の成果を活かした今後の取組について

①今後の取組の方向性

大会で得られた成果を活かして、以下の3つの柱に基づく取組を展開予定
こうした取組は、県や県人会、関係機関等が連携しながら、それぞれの立場で取組を推進

○3つの柱 (24 ページ参照)

- ・世代間交流の促進による県人会の活性化及び次世代への継承
- ・県人会相互・県とのネットワークの強化
- ・本県の魅力情報の発信など本県施策の更なる展開

②県の取組

県として3つの柱に基づく取組を推進するため、令和6年度は以下の2つの事業を実施予定

○宮崎県人会活性化・ネットワーク化事業 (25 ページ参照)

○ブラジル宮崎県人会創立75周年記念事業 (26 ページ参照)

(大会開催後の県人会同士の交流について)

ハノイ県人会と台湾県人会の交流



ハノイ県人会とニューヨーク県人会の交流



(大会参加者アンケートについて)

大会に参加した県人会の方々の意見

- ・2年に1回でもいいので若い世代の人たちに向けた大会を実施してほしい。(50 歳代)
- ・活動を活発にしていくために若い世代の取組に期待したい (40 歳代)
- ・国内外の県人会のホームページができるといい。(70 歳以上)
- ・各県人会が連携して良い情報を発信していけたらいい。(40 歳代)
- ・今回のつながりをより強くする仕組みをお願いします。(50 歳代)
- ・県外や海外の県人会とつながりたい。(60 歳代)
- ・宮崎のいい物や文化を世界に届けることができればいい。(60 歳代)



宮崎県人会世界大会の開催～大会の成果と今後の展開～



日本の
ひなた
宮崎県

大会の成果

① 幅広い世代の参加者との相互理解と交流

- ・大会当日に幅広い世代で相互交流

② 県や県人会同士の交流により、ネットワークが拡大

- ・新たな海外県人会の把握
- ・大会開催後の県人会同士の交流
ニューヨーク県人会とハワイ県人会との交流会等
- ・高校生と県人会との交流
高校生20名が台湾を訪問し台湾県人会と交流

③ 参加者がふるさと宮崎の魅力を再発見

- ・ブラジル宮崎県人会会員が現地雑誌に本県観光地等のPR記事を掲載
- ・ホーチミン市宮崎県人会会員が現地雑誌に本県観光地等のPR記事を掲載

今後の展開

① 世代間交流の促進による県人会の活性化及び次世代への継承

- ・若者の加入促進を図るための情報提供を行うなど世代間交流を促進

今後の取組

② 県人会相互・県とのネットワークの強化

- ・HPやSNS等を活用した各県人会の活動を共有できる場を創設

③ 本県の魅力情報の発信など本県施策の更なる展開

- ・県人会会員と連携した本県の食や観光の魅力を発信

新 宮崎県人会活性化・ネットワーク化事業

国際・経済交流課 13,000千円

【財源：宮崎再生基金】

事業の目的

県人会世界大会開催を契機に新たに築かれたつながりを活用し、県人会の活性化や次世代への継承、ネットワークの強化及び本県施策の更なる展開を図る。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① 県人会の活性化及び次世代への継承
 - ・ 県人会の次代を担う人材を本県に招へいし、次世代育成のための交流会や意見交換を実施
 - ・ 国内県人会の活性化等に向けた取組促進
- ② 県人会相互・県とのネットワークの強化
県のひなたポータルサイト内に特設ページを作成し、世界各地の県人会や県の情報等に誰でもアクセスできる環境を整備
- ③ 本県の魅力情報の発信など本県施策の更なる展開
海外県人会による県産品の販路拡大など本県施策と関連した取組に対する支援



海外県人会

(2) 事業の仕組み

① 県 委託 民間企業、県 委託 民間企業 県 補助 海外県人会

(3) 成果指標

外国人との交流行事等に参加したことのある県民の割合：現状（令和4年）14% → 令和8年 20%
県人会と連携した取組：現状（令和4年度）3件 → 令和8年度 20件

事業の期間

令和6年度～令和7年度

新 ブラジル宮崎県人会創立75周年記念事業

国際・経済交流課 26,525千円
【財源：宮崎再生基金】

事業の目的

ブラジル宮崎県人会創立75周年記念式典等へ参加する訪問団の派遣等により、本県からの移住者が多く歴史的につながりの深い南米地域の県人会等との親善を深める。

事業の概要

- 事業内容
① 訪問団派遣
ブラジル宮崎県人会創立75周年記念式典への参加や、南米地域の県人会と親善を深めるための訪問団を派遣（訪問者：知事ほか7名）

- ② 記念式典開催支援
ブラジル宮崎県人会創立75周年記念式典の開催経費を支援

- ② 事業の仕組み



- ③ 成果指標

外国人との交流行事等に参加したことのある県民の割合
現状（令和4年）14% → 令和8年 20%

※訪問中プレスリリースを行うなどメディアを活用した広報により県民の国際理解が向上



事業の期間

令和6年度